



■おともたちと、わいわい遊べますように！

今年ほど桜の花に癒されたことはなかったように思います。2月末からコロナウィルスの影響で学校やお稽古事が休みになり、近所では鬼ごっこをする子どもが、昔はこうして外で遊んだものだと思ってしまうが、だんだんと深刻な状況になってきました。

4月に入って遊びに来た1歳の男の子は、すぐに滑り台やままごとでニコニコしながら遊び出しました。その姿を見て「この二日程よく泣くので心配したのですが、ずっと家の中ばかりだったからでしょうね」と、お母さん。そうですよね・・・みんななきつい思いをしていますね。

この「ひまわりのたね」だよりを書いている今は、子育て支援センターも感染予防対策で閉館しています。

子どもたちの声も聞こえず、ひっそりとして、さみしく感じています。また、「お母さんたちもストレスが溜まっていないかなあ」と心配しています。そんな時は深呼吸が効果ありますよ！

でも、どんな時でも、子どもはぐんぐん成長しています。ゆっくりと子どもと向き合っていると、「えー」と驚くことや、「ぶっ！」と笑いたくなる行動をしますよ。窮屈な時ですが、ホッと笑顔にしてくれるのは、やっぱり子どもたちですね。

このコラムを読んでもらっている頃には「もう、おともたちといっぱい遊んでいるよ」と言えるようになっていこうとを心より願っています。

子育て支援センター 「ひまわりのたね」

【開館】月～金曜日 9～16時

【場所】総合福祉センター
「ひまわりの里」内

【対象】0歳から未就学の子どもとその保護者

※利用には保護者の付き添いが必要です

【利用料】無料